

△ちかか 便り ラブレター

さりげなくささやかれた言葉は、さりげなく聞き流した。60年前の言葉が電波に乗ってやってきた。「テュークエイセの生きるもの」の歌を口ずさみ往年の好少年と美少女は互いの頭に霜を置き、あの日の思い出を1日かけて話し合った。ただそれだけのこと。(名華文)

ラブレターと聞いて思い出すのは実家の母の死後荷物の整理をしていて見つけたとうの昔に亡くなっている父宛の数通の手紙でした。先に逝った事への恨み、不満、淋しさなどが書かれていました。父に対する愛のこもった手紙だと思いました。(すみちゃん)

学生時代の忘れられないラブレター。長身で映画俳優にでもなれそうな男前だった。ある日突然手紙を差し出された。ドキドキし封を開けてびっくり！ガッカリ！字は汚く肝心なところに誤字があった…恋する乙女は哀しくなると地下鉄のごみ箱にポイと投げ入れた。私はラブレターを貰って失恋したのだった。あゝ残念！(Gファン)

私の帰りを待って遠くからでも走ってきてくれた。歯をむき出し笑う笑顔は最高だった。やんちゃも半端なく、おに饅頭10数個を小さな体で一気に食べたよね。最後は私の腕の中で「ありがと」を言ってくれた。今でも大好きだよ愛犬キャンディ。(しばり)



No.28



△ハモン博士のまとめ

ラブレターといえは「恋文」。当然思い浮かぶのは手紙の形式じゃが、現代ではSNSとかいう手段が多くなり、むしろ世代からするとなんとも味気ない気がするの。

大切な相手に想いを伝える便利な手段は色々あるが、心を込めて手紙をしたためるのも良い経験になるはずじゃ。字の汚いのは極力努力するとしても、誤字には細心の注意を払わねばなららんがの。



問合せ

おおぐち男女共同参画懇話会(地域振興課)
☎95-1691

不用意に言った発言があとで自分の首を絞めることがある。さらにそれが文書化されて証拠品として残っていたら、それはもう首輪と鎖だ。別れたあの子には書けたが、ずっと一緒にいる妻には絶対に書けない。(俺)

ラブレター、あんまり縁がないモノだけど…、思い出してみると小さい頃に息子たちからもらった誕生日や母の日の手紙が、私にとって大切なラブレター。あんな可愛くて愛のこもったラブレターをもらうことは、もうない。送った側は覚えていないと思うけど。(笑)(チャーミー)

Be Ambitious

vol.283

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場!

ものづくりが好きな子どもが大好き

瀬瀬 悠貴さん(余野) H9・2・7生



ものづくりが好き

ITの保守管理をする仕事をしていきます。具体的には、パソコンやプリンターのメンテナンス、修理などです。

小学生の頃からパソコンをさわるのが好きで、中学生のときには自分でパソコンを組み立てました。小さい部品がからまって全体的に動くのを見るのがおもしろく、機械を展示する技術展を見に行ったりもします。細かい作業が好きで、今でも年に1回くらい自分で部品を買ってきてパソコンを組み立てます。

趣味はテニスやボルダリング等のスポーツと、ケーキ作り。中でもパウンドケーキが得意。作る過程が好きで、家



▲友達と食事

族や友達に食べてもらいます。が、実は食べる方には興味がなく自分は試食だけです(笑)。「子どもと文化の森」を手伝い小学生の時、余野神社の放課後教室「もりもりキッズ」に通っていた縁で、高校のときから「NPO法人子どもと文化の森」主催の「こどものまち」を手伝っています。子どもがスタッフとなり会議を重ね、8月の3日間、町民会館で子どもがお店や会社を運営するというイベント。会議がまとまらないときに助言したり、当日は困っている子のお手伝いをしたり。子どもが生き生きとやりたいことをやって活気があるので、見ている方も楽しくなる行事です。子どもは大好きです。